

## 11. 鹿嶋市及び神栖市の現状分析

### (1) 人口推移・人口動態

#### 1) 人口の推移 (図表 4-64)

平成 26 年 (2014 年) 10 月現在, 鹿嶋市の人口は 66,802 人 (県内 14 位) で, 昭和 50 年 (1975 年) 以降増加傾向が続いている。平成 7~26 年 (1995~2014 年) (20 年間) の増減数は 6,135 人で, 県内 9 位となっている。国立社会保障・人口問題研究所 (以下, 社人研) の予測では, 平成 27 年 (2015 年) に減少に転じ, 平成 52 年 (2040 年) の人口は 55,812 人で, 平成 26 年 (2014 年) から 10,990 人 (-16.5%) 減少する見込みである。

一方, 神栖市の人口は 94,135 人 (県内 9 位) で, 鹿嶋市と同様に, 昭和 50 年 (1975 年) 以降増加傾向が続いている。平成 7~26 年 (1995~2014 年) の増減数は 10,964 人で, 県内 4 位となっている。社人研の予測では, 平成 32 年 (2020 年) に減少に転じ, 平成 52 年 (2040 年) の人口は 89,007 人で, 平成 26 年 (2014 年) から 5,128 人 (-5.4%) 減少する見込みである。

【図表 4-64 人口・世帯数の推移及び人口予測 (鹿嶋市・神栖市)】

年	鹿嶋市		神栖市	
	人口	世帯数	人口	世帯数
S50 (1975)	48,230	11,621	62,690	15,280
55 (1980)	51,355	12,923	67,364	17,021
60 (1985)	55,924	16,083	72,533	20,647
H2 (1990)	59,092	17,754	77,596	23,360
7 (1995)	60,667	19,851	83,171	27,178
12 (2000)	62,287	21,539	87,626	30,498
17 (2005)	64,435	23,552	91,867	33,366
22 (2010)	66,093	25,199	94,795	35,901
26 (2014)	66,802	26,970	94,135	37,291
27 (2015)	66,121	—	95,800	—
32 (2020)	65,128	—	95,741	—
37 (2025)	63,446	—	94,896	—
42 (2030)	61,200	—	93,448	—
47 (2035)	58,575	—	91,460	—
52 (2040)	55,812	—	89,007	—
H7-26増減数	6,135	7,119	10,964	10,113
H7-26増減率(%)	10.1	35.9	13.2	37.2
H26-52増減数	-10,990	—	-5,128	—
H26-52増減率(%)	-16.5	—	-5.4	—

※S50~H26年:10月1日現在, H27年以降は将来推計

出典:国勢調査,茨城県常住人口調査,国立社会保障・人口問題研究所将来推計人口

#### 2) 年齢3区分別人口の推移 (図表 4-65・4-66)

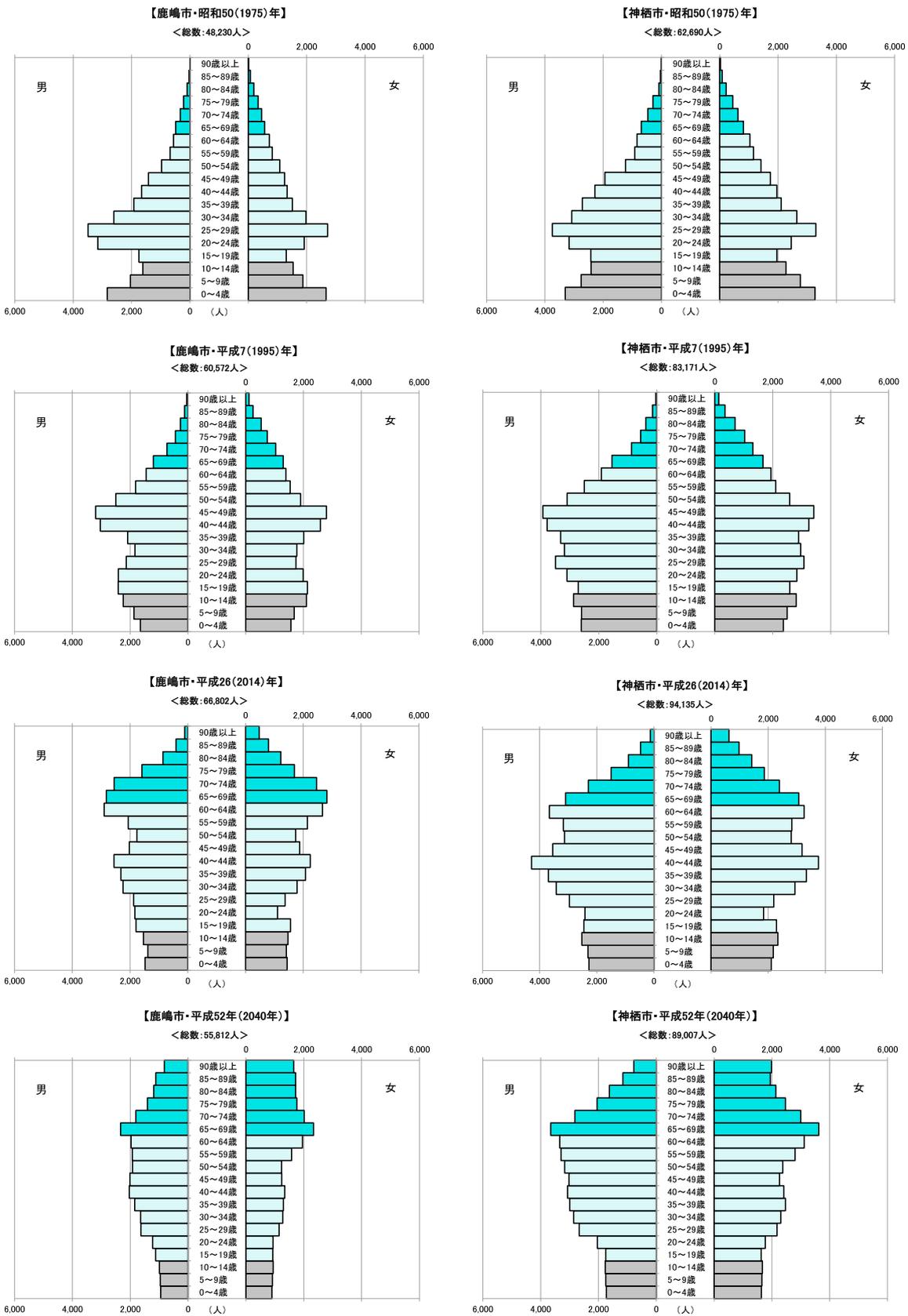
平成 26 年 (2014 年) 10 月現在, 鹿嶋市の年齢 3 区分別人口は, 14 歳以下が 8,724 人 (13.1%), 15~64 歳が 39,928 人 (60.1%), 65 歳以上が 17,791 人 (26.8%) で, 県全体 (14 歳以下:12.9%, 15~64 歳:61.2%, 65 歳以上:25.8%) に比べ 65 歳以上の割合が高い。

一方, 神栖市は, 14 歳以下が 13,741 人 (14.7%), 15~64 歳が 61,182 人 (65.3%), 65 歳以上が 18,734 人 (20.0%) で, 県全体に比べ 14 歳以下, 15~64 歳の割合が高い。

社人研の予測では, 平成 52 年 (2040 年) の 14 歳以下の人口は, 鹿嶋市が 5,657 人 (10.1%, 平成 26 年 (2014 年) 比-35.2%), 神栖市が 10,204 人 (11.5%, 同-25.7%), 65 歳以上の人口は, 鹿嶋市が 19,871 人 (35.6%, 同+11.7%), 神栖市が 27,240 人 (30.6%, 同+45.4%) で, 少子高齢化の一層の進展が見込まれている。

人口ピラミッドをみると, 鹿嶋市, 神栖市ともに, 昭和 50 年 (1975 年) は, 20~29 歳の人口が多い「富士山型」であった。しかし, 少子高齢化の進展により, 平成 7 年 (1995 年) は「つり鐘型」, 平成 26 年 (2014 年) は中高年齢層が厚い「つぼ型」に変化している。さらに, 平成 52 年 (2040 年) には, 65 歳以上人口に大きな厚みがある「逆三角形型」に変化し, 高年齢層を支える若年層の負担が重い人口構造となることが見込まれる。

【図表 4-65 人口ピラミッド (昭和50年~平成52年 (1975年~2040年)) (鹿嶋市・神栖市)】



※昭和50年(1975年), 平成7年(1995年), 平成26年(2014年): 10月1日現在。平成52年(2040年)は将来推計

出典: 茨城県常住人口調査, 国立社会保障・人口問題研究所将来推計人口

【図表 4-66 年齢3区分別人口の推移及び予測（鹿嶋市・神栖市）】

(単位:人)

年	鹿嶋市						神栖市					
	14歳以下		15~64歳		65歳以上		14歳以下		15~64歳		65歳以上	
	比率(%)	比率(%)	比率(%)									
S50 (1975)	12,567	26.1	32,838	68.1	2,801	5.8	16,778	26.8	42,114	67.2	3,798	6.1
55 (1980)	14,027	27.3	34,060	66.3	3,264	6.4	17,885	26.6	44,836	66.6	4,632	6.9
60 (1985)	14,788	26.4	37,124	66.4	4,012	7.2	18,014	24.8	48,861	67.4	5,658	7.8
H2 (1990)	13,118	22.2	40,647	68.9	5,261	8.9	16,818	21.7	53,877	69.4	6,897	8.9
7 (1995)	11,097	18.3	42,715	70.5	6,760	11.2	15,753	18.9	58,688	70.6	8,730	10.5
12 (2000)	9,953	16.0	43,586	70.0	8,738	14.0	15,084	17.2	61,388	70.2	11,013	12.6
17 (2005)	9,602	14.9	43,555	67.6	11,278	17.5	15,077	16.4	63,681	69.3	13,104	14.3
22 (2010)	9,079	13.8	41,907	63.8	14,748	22.4	14,684	15.6	63,837	67.7	15,792	16.7
26 (2014)	8,724	13.1	39,928	60.1	17,791	26.8	13,741	14.7	61,182	65.3	18,734	20.0
27 (2015)	8,395	12.7	39,186	59.3	18,540	28.0	14,066	14.7	62,388	65.1	19,346	20.2
32 (2020)	7,674	11.8	36,697	56.3	20,757	31.9	13,102	13.7	60,690	63.4	21,949	22.9
37 (2025)	6,990	11.0	35,504	56.0	20,952	33.0	12,076	12.7	59,575	62.8	23,245	24.5
42 (2030)	6,347	10.4	34,512	56.4	20,341	33.2	11,122	11.9	58,233	62.3	24,093	25.8
47 (2035)	5,931	10.1	32,883	56.1	19,761	33.7	10,553	11.5	55,605	60.8	25,302	27.7
52 (2040)	5,657	10.1	30,284	54.3	19,871	35.6	10,204	11.5	51,563	57.9	27,240	30.6
H7-26増減数	-2,373	-	-2,787	-	11,031	-	-2,012	-	2,494	-	10,004	-
H7-26増減率(%)	-21.4	-	-6.5	-	163.2	-	-12.8	-	4.2	-	114.6	-
H26-52増減数	-3,067	-	-9,644	-	2,080	-	-3,537	-	-9,619	-	8,506	-
H26-52増減率(%)	-35.2	-	-24.2	-	11.7	-	-25.7	-	-15.7	-	45.4	-

※S50~H26年:10月1日現在、S27年以降は将来推計

出典:国勢調査、茨城県常住人口調査、国立社会保障・人口問題研究所将来推計人口

### 3) 自然・社会増減の状況(図表 4-67~4-72)

平成 17~26 年(2005~2014 年)における鹿嶋市の自然増減(出生者数-死亡者数)は、36 人の自然増加となっている。平成 23 年(2011 年)に自然減少に転じて以降、自然減少幅は拡大している。

一方、神栖市は 2,011 人の自然増加となっており、自然増加幅は縮小傾向にある。

平成 17~26 年(2005~2014 年)における鹿嶋市の社会増減(転入者数-転出者数)は 2,561 人の転入超過で、平成 25 年(2013 年)を除き毎年 150 人以上転入が超過している。年齢別では、14 歳以下、20~24 歳、45~49 歳を除く年齢層で転入超過となっている。性別では、男性は 15~24 歳が 422 人の転入超過である一方、女性の 15~24 歳は 474 人の転出超過となっている。

また、平成 17~26 年(2005~2014 年)の神栖市の社会増減は 905 人の転入超過で、平成 23 年(2011 年)及び平成 25 年(2013 年)を除き毎年転入が超過している。年齢別では、19 歳以下、35~49 歳を除く年齢層で転入超過となっている。性別では、男性は 20~24 歳が 1,056 人の転入超過である一方、女性の 20~24 歳は 23 人の転出超過となっている。

鹿嶋市、神栖市は、周辺市町等からの人口流入により、全体ではともに転入超過にある一方で、若年女性は転出超過となっており、今後、少子化の深刻化が予想される。

【図表 4-67 自然増減の推移(平成 17~26 年(2005 年~2014 年))(鹿嶋市)】

(単位:人)

年	自然増減数				出生数				死亡数			
	総数	男	女	自然増減率(%)	総数	男	女	出生率(%)	総数	男	女	死亡率(%)
H17 (2005)	32	5	27	0.05	569	304	265	8.90	537	299	238	8.40
18 (2006)	69	6	63	0.11	615	293	322	9.50	546	287	259	8.50
19 (2007)	54	-20	74	0.08	567	279	288	8.70	513	299	214	7.90
20 (2008)	18	-47	65	0.03	614	311	303	9.40	596	358	238	9.10
21 (2009)	38	-10	48	0.06	595	319	276	9.10	557	329	228	8.50
22 (2010)	46	-14	60	0.07	624	314	310	9.50	578	328	250	8.80
23 (2011)	-8	-43	35	-0.01	589	311	278	8.90	597	354	243	9.00
24 (2012)	-46	-33	-13	-0.07	611	321	290	9.20	657	354	303	9.90
25 (2013)	-64	-110	46	-0.10	591	261	330	8.90	655	371	284	9.80
26 (2014)	-103	-85	-18	-0.15	577	289	288	8.60	680	374	306	10.20
計	36	-351	387	0.01	5,952	3,002	2,950	9.07	5,916	3,353	2,563	9.01
(参考) 茨城県 H17-26	-29,856	-20,183	-9,673	-0.11	194,533	100,046	94,487	7.28	224,389	120,229	104,160	8.40

※自然増減率:自然増減数÷1月1日現在人口×100、出生(死亡)率:出生(死亡)者数÷1月1日現在人口×1,000

※「計」及び茨城県の自然増減率、出生率、死亡率は、年平均値。

出典:茨城県常住人口調査

【図表 4-68 自然増減の推移（平成 17～26 年（2005 年～2014 年））（神栖市）】

(単位:人)

年	自然増減数				出生数				死亡数			
	総数	男	女	自然増減率(%)	総数	男	女	出生率(‰)	総数	男	女	死亡率(‰)
H17 (2005)	282	102	180	0.31	956	475	481	10.50	674	373	301	7.40
18 (2006)	272	100	172	0.30	972	491	481	10.60	700	391	309	7.60
19 (2007)	335	137	198	0.36	1,026	544	482	11.10	691	407	284	7.50
20 (2008)	276	132	144	0.30	996	532	464	10.60	720	400	320	7.70
21 (2009)	276	95	181	0.29	1,041	535	506	11.10	765	440	325	8.10
22 (2010)	196	71	125	0.21	976	503	473	10.30	780	432	348	8.30
23 (2011)	114	12	102	0.12	939	496	443	9.90	825	484	341	8.70
24 (2012)	172	78	94	0.18	948	499	449	10.10	776	421	355	8.20
25 (2013)	31	-4	35	0.03	829	434	395	8.80	798	438	360	8.40
26 (2014)	57	14	43	0.06	871	438	433	9.20	814	424	390	8.60
計	2,011	737	1,274	0.22	9,554	4,947	4,607	10.22	7,543	4,210	3,333	8.05
(参考) 茨城県 H17～26年	-29,856	-20,183	-9,673	-0.11	194,533	100,046	94,487	7.28	224,389	120,229	104,160	8.40

※自然増減率:自然増減数÷1月1日現在人口×100、出生(死亡)率:出生(死亡)者数÷1月1日現在人口×1,000  
 ※「計」及び茨城県の自然増減率、出生率、死亡率は、年平均値。

出典:茨城県常住人口調査

【図表 4-69 社会増減の推移（平成 17～26 年（2005 年～2014 年））（鹿嶋市）】

(単位:人)

年	社会増減数				社会増減率(%)	転入者数											
	総数	男	女	総数		県外			県内			その他					
						総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女			
H17 (2005)	182	185	-3	0.28	2,954	1,616	1,338	1,898	1,058	840	1,036	546	490	20	12	8	
18 (2006)	267	200	67	0.41	3,126	1,721	1,405	1,973	1,095	878	1,137	615	522	16	11	5	
19 (2007)	261	195	66	0.40	3,038	1,668	1,370	1,854	1,029	825	1,171	634	537	13	5	8	
20 (2008)	287	167	120	0.44	3,099	1,709	1,390	1,975	1,116	859	1,108	583	525	16	10	6	
21 (2009)	278	173	105	0.42	2,858	1,564	1,294	1,714	958	756	1,123	595	528	21	11	10	
22 (2010)	427	248	179	0.65	2,908	1,592	1,316	1,858	1,034	824	1,042	552	490	8	6	2	
23 (2011)	457	267	190	0.69	2,938	1,630	1,308	1,643	941	702	1,279	677	602	16	12	4	
24 (2012)	175	92	83	0.26	2,584	1,443	1,141	1,441	862	579	1,110	563	547	33	18	15	
25 (2013)	72	105	-33	0.11	2,580	1,448	1,132	1,419	841	578	1,121	581	540	40	26	14	
26 (2014)	155	122	33	0.23	2,535	1,466	1,069	1,410	841	569	1,057	580	477	68	45	23	
計	2,561	1,754	807	0.39	28,620	15,857	12,763	17,185	9,775	7,410	11,184	5,926	5,258	251	156	95	
(参考) 茨城県 H17～26年	-23,763	-3,554	-20,209	-0.08	1,198,396	656,385	542,011	647,905	373,137	274,768	520,238	265,968	254,270	30,253	17,280	12,973	
年	転出者数												移動数				
	総数			県外			県内			その他			総数	男	女	移動率(%)	
	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女					
H17 (2005)	2,772	1,431	1,341	1,614	833	781	1,143	586	557	15	12	3	5,726	3,047	2,679	8.94	
18 (2006)	2,859	1,921	1,338	1,617	865	752	1,174	602	572	68	54	14	5,985	3,242	2,743	9.27	
19 (2007)	2,777	1,473	1,304	1,625	873	752	1,106	566	540	46	34	12	5,815	3,141	2,674	8.96	
20 (2008)	2,812	1,542	1,270	1,681	918	763	1,108	606	502	23	18	5	5,911	3,251	2,660	9.07	
21 (2009)	2,580	1,391	1,189	1,482	789	693	1,070	581	489	28	21	7	5,438	2,955	2,483	8.30	
22 (2010)	2,481	1,344	1,137	1,446	793	653	1,015	535	480	20	16	4	5,389	2,936	2,453	8.19	
23 (2011)	2,481	1,363	1,118	1,517	846	671	931	488	443	33	29	4	5,419	2,993	2,426	8.19	
24 (2012)	2,409	1,351	1,058	1,379	779	600	989	547	442	41	25	16	4,993	2,794	2,199	7.50	
25 (2013)	2,508	1,343	1,165	1,371	731	640	1,054	554	500	83	58	25	5,088	2,791	2,297	7.63	
26 (2014)	2,380	1,344	1,036	1,308	748	560	1,015	556	459	57	40	17	4,915	2,810	2,105	7.37	
計	26,059	14,103	11,956	15,040	8,175	6,865	10,605	5,621	4,984	414	307	107	54,679	29,960	24,719	8.34	
(参考) 茨城県 H17～26年	1,222,159	659,939	562,220	664,259	371,374	292,885	521,390	265,946	255,444	36,510	22,619	13,891	2,420,555	1,316,324	1,104,231	8.16	

※その他:転入者～従前の住所地が不明又は帰籍離脱、転出者～転出先の住所地が不明又は国籍離脱  
 ※社会増減率:社会増減数÷1月1日現在人口×100、移動率:移動数(転入者数+転出者数)÷1月1日現在人口×100  
 ※「計」及び茨城県の社会増減率、移動率は、年平均値。

出典:茨城県常住人口調査

【図表 4-70 年齢別・性別社会増減数（平成 17～26 年（2005 年～2014 年））の合計値（鹿嶋市）】

(単位:人)

年齢	転入			転出			社会増減数			(参考)茨城県 社会増減数(H17～26年)		
	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女
0～4歳	1,876	958	918	1,961	1,024	937	-85	-66	-19	4,991	2,551	2,440
5～9歳	991	504	487	1,073	563	510	-82	-59	-23	-421	-76	-345
10～14歳	477	239	238	577	279	298	-100	-40	-60	-586	-190	-396
15～19歳	1,569	1,096	473	1,400	754	646	169	342	-173	1,691	1,847	-156
20～24歳	4,055	2,279	1,776	4,276	2,199	2,077	-221	80	-301	-19,164	-3,187	-15,977
25～29歳	4,670	2,511	2,159	4,382	2,388	1,994	288	123	165	-7,572	-2,172	-5,400
30～34歳	3,625	1,919	1,706	3,455	1,787	1,668	170	132	38	-5,145	-2,377	-2,768
35～39歳	2,438	1,363	1,075	2,417	1,366	1,051	21	-3	24	-2,735	-1,612	-1,123
40～44歳	1,500	903	597	1,430	877	553	70	26	44	-1,743	-1,060	-683
45～49歳	997	638	359	1,043	660	383	-46	-22	-24	-1,633	-736	-897
50～54歳	913	534	379	811	521	290	102	13	89	-1,009	-605	-404
55～59歳	1,194	649	545	806	486	320	388	163	225	83	-341	424
60～64歳	1,588	906	682	792	490	302	796	416	380	2,331	1,267	1,064
65～69歳	1,170	666	504	553	293	260	617	373	244	2,651	1,640	1,011
70～74歳	660	376	284	376	174	202	284	202	82	1,751	984	767
75～79歳	357	166	191	273	101	172	84	65	19	1,569	764	805
80～84歳	251	91	160	215	83	132	36	8	28	1,591	442	1,149
85～89歳	163	35	128	130	38	92	33	-3	36	1,314	333	981
90歳以上	125	23	102	89	20	69	36	3	33	800	198	602
不詳	1	1	0	0	0	0	1	1	0	-2,527	-1,224	-1,303
総数	28,620	15,857	12,763	26,059	14,103	11,956	2,561	1,754	807	-23,763	-3,554	-20,209

出典:茨城県常住人口調査

【図表 4-71 社会増減の推移（平成17～26年（2005年～2014年））（神栖市）】

【社会増減の推移（平成17～26年）（鹿嶋市（上段）・神栖市（下段））】

（単位：人）

年	社会増減数			社会増減率 (%)	転入者数											
	総数	男	女		総数			県外			県内			その他		
					総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女
H17 (2005)	506	351	155	0.56	4,760	2,633	2,127	3,414	1,912	1,502	1,226	638	588	120	83	37
18 (2006)	380	262	118	0.41	4,474	2,506	1,968	3,257	1,859	1,398	1,110	582	528	107	65	42
19 (2007)	457	302	155	0.49	4,441	2,484	1,957	3,335	1,889	1,446	998	517	481	108	78	30
20 (2008)	53	89	-36	0.06	4,017	2,267	1,750	2,998	1,708	1,290	898	473	425	121	86	35
21 (2009)	259	156	103	0.28	4,162	2,301	1,861	3,018	1,687	1,331	978	505	473	166	109	57
22 (2010)	229	178	51	0.24	3,886	2,200	1,686	2,811	1,623	1,188	964	500	464	111	77	34
23 (2011)	-707	-271	-436	-0.75	3,506	2,011	1,495	2,538	1,478	1,060	875	472	403	93	61	32
24 (2012)	55	147	-92	0.06	3,547	2,046	1,501	2,583	1,493	1,090	870	497	373	94	56	38
25 (2013)	-329	-166	-163	-0.35	3,379	1,920	1,459	2,351	1,382	969	906	463	443	122	75	47
26 (2014)	2	97	-95	0.00	3,416	2,023	1,393	2,434	1,473	961	893	490	403	89	60	29
計	905	1,145	-240	0.10	39,588	22,391	17,197	28,739	16,504	12,235	9,718	5,137	4,581	1,131	750	381
(参考) 茨城県 H17-26年	-23,763	-3,554	-20,209	-0.08	1,198,396	656,385	542,011	647,905	373,137	274,768	520,238	265,968	254,270	30,253	17,280	12,973
年	転出者数												移動数			
	総数			県外			県内			その他			総数	男	女	移動率 (%)
	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女				
H17 (2005)	4,254	2,282	1,972	2,963	1,583	1,380	1,128	571	557	163	128	35	9,014	4,915	4,099	9.92
18 (2006)	4,094	2,244	1,850	3,119	1,708	1,411	859	446	413	116	90	26	8,568	4,750	3,818	9.30
19 (2007)	3,984	2,182	1,802	2,838	1,554	1,284	998	507	491	148	121	27	8,425	4,666	3,759	9.08
20 (2008)	3,964	2,178	1,786	2,863	1,554	1,309	921	487	434	180	137	43	7,981	4,445	3,536	8.53
21 (2009)	3,903	2,145	1,758	2,820	1,544	1,276	920	477	443	163	124	39	8,065	4,446	3,619	8.59
22 (2010)	3,657	2,022	1,635	2,740	1,509	1,231	812	433	379	105	80	25	7,543	4,222	3,321	7.99
23 (2011)	4,213	2,282	1,931	3,081	1,660	1,421	1,051	555	496	81	67	14	7,719	4,293	3,426	8.14
24 (2012)	3,492	1,899	1,593	2,497	1,374	1,123	861	447	414	134	78	56	7,039	3,945	3,094	7.47
25 (2013)	3,708	2,086	1,622	2,553	1,444	1,109	911	488	423	244	154	90	7,087	4,006	3,081	7.50
26 (2014)	3,414	1,926	1,488	2,406	1,367	1,039	807	438	369	201	121	80	6,830	3,949	2,881	7.25
計	38,683	21,246	17,437	27,880	15,297	12,583	9,268	4,849	4,419	1,535	1,100	435	78,271	43,637	34,634	8.38
(参考) 茨城県 H17-26年	1,222,159	659,939	562,220	664,259	371,374	292,885	521,390	265,946	255,444	36,510	22,619	13,891	2,420,555	1,316,324	1,104,231	8.16

※その他：転入者～従前の住所地が不明又は帰化、転出者～転出先の住所地が不明又は国籍離脱  
 ※社会増減率：社会増減数÷1月1日現在人口×100、移動率：移動数(転入者数+転出者数)÷1月1日現在人口×100  
 ※「計」及び茨城県の社会増減率、移動率は、年平均値。

出典：茨城県常住人口調査

【図表 4-72 年齢別・性別社会増減数（平成17～26年（2005年～2014年）の合計値）（神栖市）】

（単位：人）

年齢	転入			転出			社会増減数			(参考)茨城県社会増減数(H17～26年)		
	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女
0～4歳	2,689	1,383	1,306	2,975	1,544	1,431	-286	-161	-125	4,991	2,551	2,440
5～9歳	1,328	674	654	1,754	891	863	-426	-217	-209	-421	-76	-345
10～14歳	671	324	347	900	421	479	-229	-97	-132	-586	-190	-396
15～19歳	1,569	906	663	1,880	949	931	-311	-43	-268	1,691	1,847	-156
20～24歳	7,132	4,162	2,970	6,099	3,106	2,993	1,033	1,056	-23	-19,164	-3,187	-15,977
25～29歳	8,130	4,528	3,602	7,178	3,993	3,185	952	535	417	-7,572	-2,172	-5,400
30～34歳	5,835	3,171	2,664	5,788	3,128	2,660	47	43	4	-5,145	-2,377	-2,768
35～39歳	3,653	2,084	1,569	3,784	2,158	1,626	-131	-74	-57	-2,735	-1,612	-1,123
40～44歳	2,279	1,399	880	2,536	1,510	1,026	-257	-111	-146	-1,743	-1,060	-683
45～49歳	1,576	1,003	573	1,618	1,012	606	-42	-9	-33	-1,633	-736	-897
50～54歳	1,312	852	460	1,250	772	478	62	80	-18	-1,009	-605	-404
55～59歳	1,085	712	373	1,080	731	349	5	-19	24	83	-341	424
60～64歳	791	503	288	791	534	257	0	-31	31	2,331	1,267	1,064
65～69歳	520	300	220	407	255	152	113	45	68	2,651	1,640	1,011
70～74歳	312	161	151	216	103	113	96	58	38	1,751	984	767
75～79歳	255	108	147	163	64	99	92	44	48	1,569	764	805
80～84歳	219	62	157	128	48	80	91	14	77	1,591	442	1,149
85～89歳	146	35	111	81	11	70	65	24	41	1,314	333	981
90歳以上	83	24	59	48	14	34	35	10	25	800	198	602
不詳	3	0	3	7	2	5	-4	-2	-2	-2,527	-1,224	-1,303
総数	39,588	22,391	17,197	38,683	21,246	17,437	905	1,145	-240	-23,763	-3,554	-20,209

出典：茨城県常住人口調査

## (2) 通勤・通学行動

### 1) 通勤者の状況 (図表 4-73・4-74)

平成 22 年 (2010 年) の鹿嶋市の市内常住の通勤者 27,860 人のうち、市内通勤者は 66.6%で、県全体 (56.7%) に比べ高く、県内では日立市 (81.8%)、神栖市 (77.1%)、大子町 (74.9%)、水戸市 (70.6%) に次ぐ水準となっている。

一方、神栖市は、市内常住の通勤者 54,933 人のうち、市内通勤者は 77.1%で、日立市に次ぐ水準となっている。

両市ともに、職住近接の傾向がみられる。

平成 17~22 年 (2005~2010 年) は、団塊世代が定年を迎え、平成 20 年 (2008 年) 9 月のリーマン・ショックを機に雇用情勢が悪化した。平成 17~22 年 (2005~2010 年) の通勤者の増減数をみると、鹿嶋市は、市内常住の市内通勤者が 3,246 人減少 (-14.9%) し、県全体 (-9.0%) に比べ減少幅が大きい。また、市内に通勤する市外常住者は 412 人減少 (-3.2%) し、県全体 (-3.4%) 並みである。市内常住の市外通勤者は 202 人減少 (-2.4%) しており、県全体 (+1.8%) と異なり減少している。

神栖市は、市内常住の市内通勤者が 1,534 人減少 (-4.0%) し、県全体に比べ減少幅が小さい。

また、市内に通勤する市外常住者は 37 人増加 (+0.2%) し、県全体と異なり増加している。市内常住の市外通勤者は 897 人増加 (+10.3%) しており、県全体に比べ増加幅が大きい。

近隣市町村との通勤での関係性をみると、鹿嶋市への通勤者と同市からの通勤者の合計は、神栖市、潮来市、銚田市、行方市、香取市、銚子市の順に多い。

同じく神栖市は、鹿嶋市、銚子市、香取市、潮来市、東庄町、旭市の順に多い。

こうした状況から、鹿嶋市、神栖市ともに、県内及び千葉県近隣都市との通勤での関係性が高いことがわかる。

【図表 4-73 15 歳以上常住者の通勤先及び通勤者の常住先 (平成 22 年 (2010 年)) (鹿嶋市)】

(単位: 人)

通勤地・常住地	市内常住者の通勤先(人)				市内通勤者の常住先(人)			
	構成比	H17比	増減率	構成比	H17比	増減率		
常住者・通勤者	27,860	100.0%	-2,405	-7.9%	32,333	100.0%	-2,216	-6.4%
市 内	18,564	66.6%	-3,246	-14.9%	18,564	57.4%	-3,246	-14.9%
市 外	8,253	29.6%	-202	-2.4%	12,327	38.1%	-412	-3.2%
県 内	6,988	(84.7%)	-521	-6.9%	9,442	(76.6%)	188	2.0%
神栖市	4,175	((59.7%))	-304	-6.8%	3,431	((36.3%))	181	5.6%
潮来市	1,024	((14.7%))	-111	-9.8%	2,489	((26.4%))	57	2.3%
銚田市	671	((9.6%))	-52	-7.2%	1,486	((15.7%))	74	5.2%
行方市	448	((6.4%))	-52	-10.4%	1,079	((11.4%))	-80	-6.9%
水戸市	186	((2.7%))	6	3.3%	167	((1.8%))	-25	-13.0%
稲敷市	148	((2.1%))	-9	-5.7%	196	((2.1%))	-4	-2.0%
土浦市	66	((0.9%))	14	26.9%	33	((0.3%))	-10	-23.3%
ひたちなか市	37	((0.5%))	-4	-9.8%	93	((1.0%))	-7	-7.0%
つくば市	31	((0.4%))	3	10.7%	25	((0.3%))	5	25.0%
小美玉市	28	((0.4%))	10	55.6%	61	((0.6%))	13	27.1%
龍ヶ崎市	23	((0.3%))	1	4.5%	23	((0.2%))	10	76.9%
その他	151	((2.2%))	-23	-13.2%	359	((3.8%))	-26	-6.8%
県 外	866	(10.5%)	-80	-8.5%	2,885	(23.4%)	-600	-17.2%
千葉県	604	((69.7%))	-50	-7.6%	2,630	((91.2%))	-392	-13.0%
香取市	251	((29.0%))	-13	-4.9%	1,159	((40.2%))	-179	-13.4%
成田市	134	((15.5%))	6	4.7%	74	((2.6%))	23	45.1%
銚子市	49	((5.7%))	-10	-16.9%	489	((16.9%))	-38	-7.2%
千葉市	41	((4.7%))	6	17.1%	23	((0.8%))	-19	-45.2%
旭市	22	((2.5%))	7	46.7%	194	((6.7%))	-1	-0.5%
その他	107	((12.4%))	-46	-30.1%	691	((24.0%))	-178	-20.5%
東京都	194	((22.4%))	-7	-3.5%	57	((2.0%))	-49	-46.2%
神奈川県	27	((3.1%))	-12	-30.8%	32	((1.1%))	-66	-67.3%
埼玉県	13	((1.5%))	-8	-38.1%	21	((0.7%))	-30	-58.8%
その他	28	((3.2%))	-3	-9.7%	145	((5.0%))	-63	-30.3%
不 詳	399	(4.8%)	399	-	0	(0.0%)	0	-
不 詳	1,043	3.7%	1,043	-	1,442	4.5%	1,442	-

※( ): 市外に対する割合、(( )): 県内、県外に対する割合

出典: 国勢調査

【図表 4-74 15 歳以上常住者の通勤先及び通勤者の常住先（平成 22 年（2010 年））（神栖市）

（単位：人）

通勤地・常住地	市内常住者の通勤先(人)			市内通勤者の常住先(人)				
	構成比	H17比	増減率	構成比	H17比	増減率		
常住者・通勤者	47,404	100.0%	646	1.4%	54,933	100.0%	899	1.7%
市 内	36,535	77.1%	-1,534	-4.0%	36,535	66.5%	-1,534	-4.0%
市 外	9,586	20.2%	897	10.3%	16,002	29.1%	37	0.2%
県 内	4,392	(45.8%)	157	3.7%	7,809	(48.8%)	-75	-1.0%
鹿嶋市	3,431	((78.1%))	181	5.6%	4,175	((53.5%))	-304	-6.8%
潮来市	451	((10.3%))	-35	-7.2%	1,837	((23.5%))	143	8.4%
行方市	126	((2.9%))	7	5.9%	625	((8.0%))	-24	-3.7%
稲敷市	98	((2.2%))	-10	-9.3%	150	((1.9%))	5	3.4%
銚田市	60	((1.4%))	7	13.2%	505	((6.5%))	50	11.0%
水戸市	44	((1.0%))	-12	-21.4%	80	((1.0%))	12	17.6%
土浦市	21	((0.5%))	0	0.0%	39	((0.5%))	12	44.4%
牛久市	20	((0.5%))	11	122.2%	19	((0.2%))	0	0.0%
つくば市	19	((0.4%))	-8	-29.6%	28	((0.4%))	7	33.3%
その他	122	((2.8%))	16	15.1%	351	((4.5%))	24	7.3%
県 外	4,081	(42.6%)	-373	-8.4%	8,193	(51.2%)	112	1.4%
千葉県	3,768	((92.3%))	-347	-8.4%	7,822	((95.5%))	129	1.7%
銚子市	1,960	((48.0%))	-80	-3.9%	3,519	((43.0%))	-79	-2.2%
香取市	771	((18.9%))	-234	-23.3%	1,918	((23.4%))	23	1.2%
旭市	337	((8.3%))	46	15.8%	738	((9.0%))	91	14.1%
成田市	212	((5.2%))	-27	-11.3%	112	((1.4%))	21	23.1%
東庄町	184	((4.5%))	-19	-9.4%	1,063	((13.0%))	-15	-1.4%
その他	304	((7.4%))	-33	-9.8%	472	((5.8%))	88	22.9%
東京都	190	((4.7%))	-31	-14.0%	82	((1.0%))	-4	-4.7%
神奈川県	42	((1.0%))	1	2.4%	72	((0.9%))	-13	-15.3%
埼玉県	20	((0.5%))	-11	-35.5%	57	((0.7%))	-7	-10.9%
その他	61	((1.5%))	15	32.6%	160	((2.0%))	7	4.6%
不 詳	1,113	(11.6%)	1,113	-	0	(0.0%)	0	-
不 詳	1,283	2.7%	1,283	-	2,396	4.4%	2,396	-

※( )：市外に対する割合、(( ))：県内、県外に対する割合

出典：国勢調査

## 2) 通学者の状況（図表 4-75・4-76）

平成 22 年（2010 年）の鹿嶋市の市内常住の通学者 2,511 人のうち、市内通学者は 59.7%で、県全体（44.0%）に比べ高い。

平成 17～22 年（2005 年～2010 年）の増減数をみると、市内常住の市内通学者が 174 人減少（-10.4%）、市内に通学する市外常住者が 78 人減少（-6.7%）しているものの、県全体（-17.3%、-8.6%）に比べ減少幅は小さい。また、市内常住の市外通学者は 127 人減少（-12.2%）しており、県全体（-4.2%）と異なり減少幅が大きい。

一方、神栖市の市内常住の通学者 3,636 人のうち、市内通学者は 53.6%で、県全体に比べ高い。

平成 17～22 年（2005 年～2010 年）の増減数をみると、市内常住の市内通学者が 190 人減少（-8.9%）しており、県全体に比べ減少幅は小さい。また、市内に通学する市外常住者は 140 人減少（-40.9%）しており、県全体に比べ減少幅が大きい。市内常住の市外通学者は 102 人増加（+6.8%）しており、県全体と異なり増加している。

近隣市町村との通学での関係性をみると、鹿嶋市への通学者と同市からの通学者の合計は、神栖市、銚田市、潮来市、香取市、行方市の順に多い。

同じく神栖市は、銚子市、鹿嶋市、香取市、千葉市、潮来市の順に多い。

こうした状況から、鹿嶋市、神栖市ともに、県内及び千葉県の近隣都市との通学での関係性が高いことがわかる。

【図表 4-75 15 歳以上常住者の通学先及び通学者の常住先（平成 22 年（2010 年））（鹿嶋市）】

（単位：人）

通学地・常住地	市内常住者の通学先(人)			市内通学者の常住先(人)				
	構成比	H17比	増減率	構成比	H17比	増減率		
常住者・通学者	2,511	100.0%	-208	-7.6%	2,746	100.0%	-93	-3.3%
市 内	1,500	59.7%	-174	-10.4%	1,500	54.6%	-174	-10.4%
市 外	918	36.6%	-127	-12.2%	1,087	39.6%	-78	-6.7%
県 内	581	(63.3%)	-161	-21.7%	892	(82.1%)	-73	-7.6%
銚田市	312	(34.0%)	42	15.6%	101	((11.3%))	-30	-22.9%
潮来市	125	(13.6%)	-64	-33.9%	222	((24.9%))	-61	-21.6%
水戸市	55	(6.0%)	-45	-45.0%	8	((0.9%))	-13	-61.9%
行方市	33	(3.6%)	11	50.0%	67	((7.5%))	-42	-38.5%
神栖市	17	(1.9%)	-96	-85.0%	412	((46.2%))	50	13.8%
土浦市	13	(1.4%)	4	44.4%	2	((0.2%))	-2	-50.0%
龍ヶ崎市	3	(0.3%)	-3	-50.0%	0	((0.0%))	0	-
つくば市	3	(0.3%)	-6	-66.7%	1	((0.1%))	-1	-50.0%
ひたちなか市	3	(0.3%)	-3	-50.0%	10	((1.1%))	5	100.0%
その他	17	(1.9%)	-1	-5.6%	69	((7.7%))	21	43.8%
県 外	271	(29.5%)	-32	-10.6%	195	(17.9%)	-5	-2.5%
千葉県	156	((57.6%))	-19	-10.9%	169	((86.7%))	-1	-0.6%
香取市	67	((24.7%))	-8	-10.7%	80	((41.0%))	12	17.6%
千葉市	27	((10.0%))	-3	-10.0%	0	((0.0%))	-1	-100.0%
成田市	17	((6.3%))	-5	-22.7%	7	((3.6%))	5	250.0%
銚子市	15	((5.5%))	4	36.4%	47	((24.1%))	-20	-29.9%
その他	30	((11.1%))	-7	-18.9%	35	((17.9%))	3	9.4%
東京都	78	((28.8%))	-17	-17.9%	10	((5.1%))	0	0.0%
神奈川県	15	((5.5%))	0	0.0%	9	((4.6%))	4	80.0%
埼玉県	8	((3.0%))	0	0.0%	2	((1.0%))	-7	-77.8%
その他	14	((5.2%))	4	40.0%	5	((2.6%))	-1	-16.7%
不詳	66	(7.2%)	66	-	0	(0.0%)	0	-
不詳	93	3.7%	93	-	159	5.8%	159	-

※( ) : 市外に対する割合、(( )) : 県内、県外に対する割合

出典：国勢調査

【図表 4-76 15 歳以上常住者の通学先及び通学者の常住先（平成 22 年（2010 年））（神栖市）】

（単位：人）

通学地・常住地	市内常住者の通学先(人)			市内通学者の常住先(人)				
	構成比	H17比	増減率	構成比	H17比	増減率		
常住者・通学者	3,636	100.0%	-2	-0.1%	2,393	100.0%	-89	-3.6%
市 内	1,950	53.6%	-190	-8.9%	1,950	81.5%	-190	-8.9%
市 外	1,600	44.0%	102	6.8%	202	8.4%	-140	-40.9%
県 内	523	(32.7%)	54	11.5%	38	(18.8%)	-107	-73.8%
鹿嶋市	412	((78.8%))	50	13.8%	17	((44.7%))	-96	-85.0%
潮来市	28	((5.4%))	15	115.4%	9	((23.7%))	1	12.5%
水戸市	25	((4.8%))	-19	-43.2%	1	((2.6%))	0	0.0%
銚田市	20	((3.8%))	11	122.2%	4	((10.5%))	-8	-66.7%
ひたちなか市	9	((1.7%))	1	12.5%	2	((5.3%))	1	100.0%
土浦市	7	((1.3%))	-2	-22.2%	0	((0.0%))	0	-
日立市	4	((0.8%))	-6	-60.0%	0	((0.0%))	0	-
牛久市	3	((0.6%))	1	50.0%	0	((0.0%))	0	-
龍ヶ崎市	3	((0.6%))	1	50.0%	0	((0.0%))	0	-
その他	12	((2.3%))	2	20.0%	5	((13.2%))	-5	-50.0%
県 外	922	(57.6%)	-107	-10.4%	164	(8.2%)	-33	-16.8%
千葉県	766	((83.1%))	-60	-7.3%	164	((100.0%))	-33	-16.8%
銚子市	462	((50.1%))	-77	-14.3%	142	((86.6%))	-34	-19.3%
香取市	101	((11.0%))	-22	-17.9%	10	((6.1%))	4	66.7%
千葉市	70	((7.6%))	26	59.1%	0	((0.0%))	0	-
成田市	19	((2.1%))	-18	-48.6%	1	((0.6%))	1	-
その他	114	((12.4%))	31	37.3%	11	((6.7%))	-4	-26.7%
東京都	107	((11.6%))	-36	-25.2%	0	((0.0%))	0	-
神奈川県	21	((2.3%))	-2	-8.7%	0	((0.0%))	0	-
埼玉県	13	((1.4%))	-11	-45.8%	0	((0.0%))	0	-
その他	15	((1.6%))	2	15.4%	0	((0.0%))	0	-
不詳	155	(9.7%)	155	-	0	(0.0%)	0	-
不詳	86	2.4%	86	-	241	10.1%	241	-

※( ) : 市外に対する割合、(( )) : 県内、県外に対する割合

出典：国勢調査

### (3) 買い物・余暇行動

#### 1) 買い物行動の市内流出率（地元吸収率）・市外流出率及び市外からの吸収率<sup>1)</sup>（図表 4-77～4-82）

平成 27 年（2015 年）の買い物行動における市内流出率（地元吸収率）は、鹿嶋市が 85.4%、神栖市が 85.3%で、県平均（64.6%）を上回っており、両市ともに小売業、サービス業等が相応の吸収力を持っていることがわかる。

鹿嶋市の買い物行動について、市外への流出率をみると、神栖市が 47.2%で最も高く、以下千葉県が 30.5%、水戸市が 13.4%となっている。

中学校地区別の市外への流出率は、市北部（大野中地区）、市中央部（鹿島中・鹿野中・平井中地区）、市南部（高松中地区）のいずれも神栖市、千葉県の順に高く、次いで市北部は水戸市、稲敷市、市中央部は稲敷市、市南部は水戸市、東京都がそれぞれ高い。

鹿嶋市の他市町村からの吸収率は、潮来市が 56.2%で最も高く、神栖市が 31.9%、行方市が 26.5%、銚田市が 21.5%となっている。

一方、神栖市の買い物行動について、市外への流出率をみると、千葉県が 54.7%で最も高く、以下鹿嶋市が 31.9%、つくば市が 9.2%となっている。

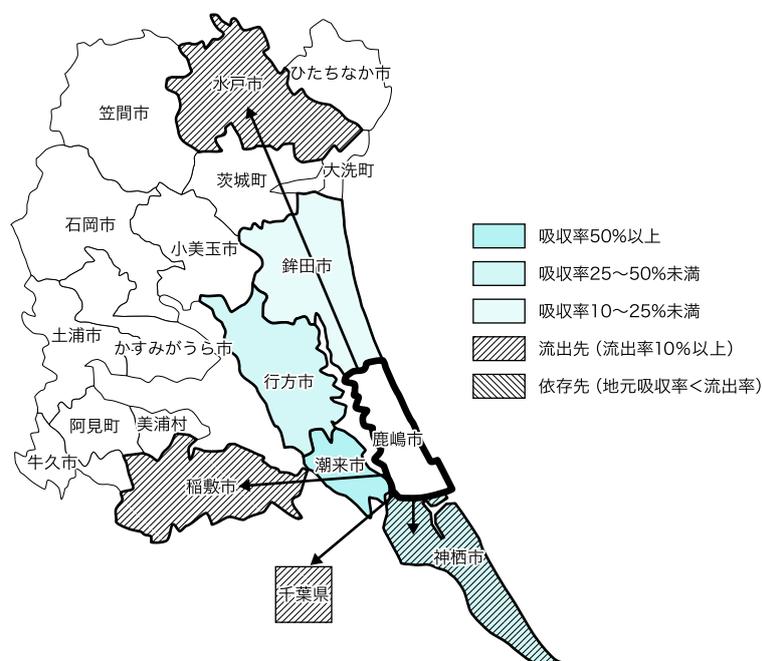
中学校地区別の市外への流出率は、旧神栖町（神栖一・二・三・四中地区）は鹿嶋市、千葉県、旧波崎町（波崎一・二・三・四中地区）は千葉県が最も高い。次いで、旧神栖町はつくば市、稲敷市、旧波崎町は東京都、阿見町が高い。

神栖市の他市町村からの吸収率は、潮来市が 65.5%で最も高く、鹿嶋市が 47.2%、行方市が 24.7%、銚田市が 10.4%となっている。

鹿嶋市、神栖市の買い物行動から、住民の生活行動における近隣都市との関係性の高さがわかる。

住民の生活利便性の向上や、行財政運営の改善等の観点から、両市は、公共交通や医療等の分野で、住民の生活圏が重複する潮来市や銚田市、銚子市等との広域連携を模索する余地があると考えられる。

【図表 4-77 市外への買い物流出状況（平成 27 年（2015 年））（鹿嶋市）】



※H27年(2015年)7月1日現在

出典:茨城県生活行動圏調査(常陽 ARC)

<sup>1)</sup>流出率：調査時点までの1年以内に1度でも行ったことのある特定市町村をマークした数÷対象市町村（中学校地区）の回答数×100。「特定市町村の流出率」は、行き先となった特定市町村から見れば、逆に「吸収率」（調査対象都市からの吸収率）となる。「特定市町村=調査対象都市」の場合、「特定市町村への流出率」は「地元吸収率」となる。

【図表 4-78 中学校の位置図（鹿嶋市）】



【図表 4-79 全体及び中学校地区別買い物行動の状況（鹿嶋市）】

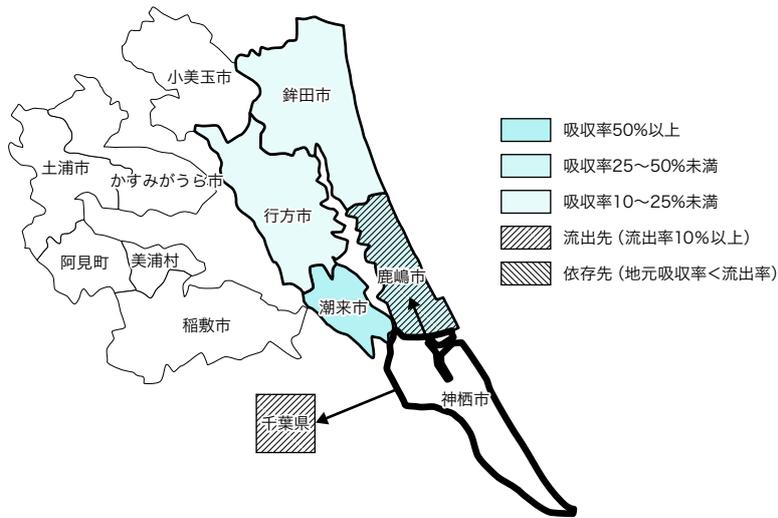
（上段：流出率(%) 下段：流出人口）

	全体 (H24年)		全体 (H27年)		鹿嶋中地区		高松中地区		鹿野中地区		平井中地区		大野中地区	
	鹿嶋市内	鹿嶋市内	鹿嶋市内	鹿嶋市内	鹿嶋市内	鹿嶋市内	鹿嶋市内	鹿嶋市内	鹿嶋市内	鹿嶋市内	鹿嶋市内	鹿嶋市内	鹿嶋市内	鹿嶋市内
1	90.0 60,551	85.4 58,276	85.3 13,235	86.5 5,626	87.7 10,766	86.7 11,784	82.8 16,860							
2	45.5 30,612	47.2 32,250	49.2 7,632	48.3 3,139	48.7 5,973	47.2 6,415	43.8 8,911							
3	27.3 18,367	30.5 20,813	35.9 5,578	28.8 1,876	32.2 3,946	36.5 4,967	20.1 4,091							
4	10.9 7,320	13.4 9,158	15.8 2,458	11.0 717	12.9 1,578	13.2 1,797	16.2 3,305							
5	6.9 4,642	12.2 8,312	14.4 2,238	9.1 589	11.6 1,423	10.7 1,454	13.8 2,809							
6	6.9 4,629	9.7 6,633	10.6 1,642	8.8 572	10.4 1,279	10.3 1,403	13.7 2,784							
7	6.4 4,292	9.2 6,305	8.2 1,273	8.0 522	9.9 1,210	8.4 1,136	11.7 2,373							
8	5.5 3,714	8.7 5,923	8.2 1,269	6.6 429	9.4 1,148	6.1 832	11.4 2,312							
9	5.3 3,539	7.5 5,091	7.7 1,192	6.5 423	8.0 984	6.1 829	9.2 1,881							
10	4.8 3,202	6.6 4,476	5.8 900	6.3 411	7.0 864	5.5 748	8.1 1,640							

※H24・27年：7月1日現在

出典：茨城県生活行動調査(常陽 ARC)

【図表 4-80 市外への買い物物流出状況（平成 27 年（2015 年））（神栖市）】



※H27年(2015年)7月1日現在

出典:茨城県生活行動圏調査(常陽ARC)

【図表 4-81 中学校の位置図（神栖市）】



【図表 4-82 全体及び中学校地区別買い物行動の状況（神栖市）】

(上段:流出率 下段:流出人口)

	全体 (H24年)		全体 (H27年)							
	神栖市内	神栖市内	神栖一中地区	神栖二中地区	神栖三中地区	神栖四中地区	波崎一中地区	波崎二中地区	波崎三中地区	波崎四中地区
1	86.0 79,459	85.3 80,673	86.6 14,618	89.3 17,333	88.6 6,286	90.7 12,063	76.9 9,155	84.8 7,260	86.5 10,733	78.5 3,897
2	千葉県 49.5 45,751	千葉県 54.7 51,727	千葉県 51.8 8,742	鹿嶋市 42.7 8,288	鹿嶋市 39.4 2,797	千葉県 42.7 5,684	千葉県 74.7 8,898	千葉県 67.0 5,732	千葉県 56.6 7,024	千葉県 74.0 3,674
3	鹿嶋市 33.2 30,642	鹿嶋市 31.9 30,136	鹿嶋市 43.0 7,250	千葉県 39.9 7,756	千葉県 39.1 2,772	鹿嶋市 39.7 5,288	鹿嶋市 13.2 1,570	鹿嶋市 23.5 2,015	鹿嶋市 33.3 4,133	鹿嶋市 16.7 830
4	阿見町 5.9 5,486	つくば市 9.2 8,735	つくば市 13.8 2,326	つくば市 13.2 2,571	つくば市 9.5 672	稲敷市 14.7 1,961	東京都 9.5 1,127	東京都 6.5 558	阿見町 9.3 1,156	東京都 14.2 707
5	東京都 5.6 5,172	東京都 8.3 7,827	稲敷市 8.4 1,421	稲敷市 11.8 2,299	阿見町 8.6 613	つくば市 8.9 1,187	つくば市 8.5 1,008	潮来市 5.5 469	東京都 7.1 881	阿見町 12.7 632
6	潮来市 3.7 3,380	阿見町 8.0 7,581	東京都 8.4 1,421	ひたちなか市 8.4 1,631	稲敷市 7.8 553	東京都 8.9 1,182	阿見町 5.3 631	その他 4.5 389	つくば市 6.1 757	つくば市 8.4 418
7	水戸市 3.4 3,103	稲敷市 7.5 7,052	阿見町 8.4 1,414	潮来市 8.0 1,550	その他 6.6 465	阿見町 7.5 1,001	その他 4.6 543	阿見町 4.4 378	稲敷市 5.1 630	その他 5.1 254
8	その他 3.2 2,955	ひたちなか市 4.6 4,367	土浦市 7.6 1,283	土浦市 6.7 1,301	東京都 4.7 335	潮来市 6.0 793	ひたちなか市 4.5 536	ひたちなか市 3.8 325	水戸市 3.8 469	土浦市 4.1 201
9	稲敷市 3.2 2,918	土浦市 4.5 4,197	ひたちなか市 7.6 1,283	阿見町 6.5 1,266	ひたちなか市 3.9 279	土浦市 4.4 588	土浦市 3.4 400	水戸市 3.3 286	ひたちなか市 3.5 434	稲敷市 3.8 189
10	ひたちなか市 2.0 1,810	その他 4.3 4,084	水戸市 5.8 982	東京都 6.5 1,266	土浦市 3.6 258	水戸市 4.2 554	稲敷市 2.4 281	つくば市 3.3 281	その他 3.4 427	水戸市 3.3 162

※H24・27年:7月1日現在

出典:茨城県生活行動圏調査(常陽 ARC)

2) 県外市町村への買い物行動 (図表 4-83・4-84)

平成 27 年 (2015 年) の県外市町村への買い物行動をみると、鹿嶋市全体は、成田市、船橋市、銚子市、千葉市の順、神栖市全体は銚子市、成田市、船橋市、千葉市の順で、千葉県内の市町村が上位を占めている。

また、中学校地区別によって、県外への買い物行動に若干の違いがみられる。

【図表 4-83 県外市町村への買い物行動の状況（鹿嶋市）】

(単位:%)

	全体 (H24年)		全体 (H27年)		鹿島中地区		高松中地区		鹿野中地区		平井中地区		大野中地区	
	(n=240)	(n=240)	(n=241)	(n=241)	(n=83)	(n=83)	(n=21)	(n=21)	(n=49)	(n=49)	(n=39)	(n=39)	(n=49)	(n=49)
1	成田市 82.9	成田市 82.9	成田市 84.2	成田市 81.9	成田市 81.9	成田市 81.0	成田市 81.6	成田市 92.3	成田市 85.7					
2	銚子市 34.2	船橋市 27.0	船橋市 30.1	船橋市 23.8	船橋市 26.5	銚子市 35.9	船橋市 24.5							
3	船橋市 23.3	銚子市 22.8	銚子市 25.3	香取市 19.0	香取市 20.4	船橋市 25.6	銚子市 16.3							
4	香取市 15.4	千葉市 19.5	千葉市 24.1	銚子市 19.0	銚子市 16.3	千葉市 20.5	香取市 14.3							
5	千葉市 15.0	香取市 16.6	香取市 15.7	千葉市 19.0	千葉市 16.3	香取市 15.4	千葉市 14.3							
6	浦安市 11.7	浦安市 13.3	浦安市 13.3	三郷市 9.5	浦安市 14.3	印西市 15.4	浦安市 14.3							
7	印西市 8.3	印西市 9.1	印西市 6.0	浦安市 9.5	印西市 10.2	浦安市 12.8	印西市 10.2							

※H24・27年:7月1日現在

出典:茨城県生活行動圏調査(常陽 ARC)

【図表 4-84 県外市町村への買い物行動の状況（神栖市）】

(単位:%)

	全体 (H24年)		全体 (H27年)							
	(n=546)	(n=504)	神栖一中地区	神栖二中地区	神栖三中地区	神栖四中地区	波崎一中地区	波崎二中地区	波崎三中地区	波崎四中地区
1	銚子市 81.3	銚子市 81.3	成田市 90.9	成田市 86.4	銚子市 87.3	成田市 77.4	銚子市 93.8	銚子市 100.0	銚子市 98.8	銚子市 95.8
2	成田市 65.4	成田市 75.6	銚子市 84.1	銚子市 50.6	成田市 80.0	銚子市 50.0	成田市 72.5	成田市 66.7	成田市 71.6	成田市 60.6
3	船橋市 19.8	船橋市 22.8	千葉市 29.5	船橋市 33.3	船橋市 27.3	香取市 41.9	千葉市 30.0	千葉市 20.0	印西市 14.8	船橋市 25.4
4	香取市 18.9	千葉市 21.6	船橋市 22.7	香取市 29.6	千葉市 25.5	船橋市 24.2	船橋市 18.8	香取市 13.3	千葉市 13.6	千葉市 22.5
5	千葉市 12.6	香取市 18.7	香取市 20.5	千葉市 18.5	印西市 23.6	印西市 21.0	浦安市 11.3	船橋市 13.3	船橋市 13.6	浦安市 14.1
6	印西市 7.5	印西市 14.7	浦安市 15.9	印西市 14.8	香取市 16.4	千葉市 16.1	香取市 10.0	印西市 10.0	香取市 12.3	印西市 12.7
7	浦安市 4.8	浦安市 10.9	印西市 9.1	浦安市 9.9	浦安市 10.9	浦安市 9.7	印西市 10.0	浦安市 6.7	浦安市 8.6	香取市 5.6

※H24・27年:7月1日現在

出典:茨城県生活行動圏調査(常陽 ARC)

(4) 産業・所得

1) 市内総生産及び特化係数<sup>12</sup> (図表 4-85・4-86)

平成 17～24 年度 (2005～2012 年度) における市内総生産 (実質・連鎖方式) の合計は、鹿嶋市が 2 兆 7,052 億円 (県内 9 位)、神栖市が 6 兆 4,111 億円 (同 4 位) となっている。

産業別にみると、鹿嶋市は、第 1 次産業が 263 億円 (0.9%)、第 2 次産業が 1 兆 3,362 億円 (47.7%)、第 3 次産業が 1 兆 4,417 億円 (51.4%) で、県全体 (第 1 次産業 : 2.2%、第 2 次産業 : 36.3%、第 3 次産業 : 61.5%) に比べ、第 2 次産業の構成比が高い。

一方、神栖市は、第 1 次産業が 1,002 億円 (1.6%)、第 2 次産業が 3 兆 5,031 億円 (54.9%)、第 3 次産業が 2 兆 7,802 億円 (43.6%) で、県全体に比べ第 2 次産業の構成比が圧倒的に高い。

業種別にみると、両市ともに製造業が最も多く、鹿嶋市はサービス業、不動産業、神栖市は電気・ガス・水道業、サービス業が続いている。

全国と比較した平成 22 年 (2010 年) の鹿嶋市、神栖市の業種別特化係数をみると、鹿嶋市は電気ガス・熱供給・水道業が 1.98、運輸業、郵便業が 1.88、建設業が 1.62、製造業が 1.53 となっている。

神栖市は、漁業が 2.32、電気ガス・熱供給・水道業が 1.94、運輸業、郵便業が 1.80、製造業が 1.75 となっている。

【図表 4-85 市町村内総生産 (実質・連鎖方式) (平成 17～24 年 (2005 年～2012 年) 計) (鹿嶋市・神栖市)】

	鹿嶋市		神栖市		(参考)茨城県	
	金額	構成比(%)	金額	構成比(%)	金額	構成比(%)
市内総生産	27,052	—	64,111	—	957,950	—
うち産業	24,988	100.0	61,271	100.0	840,857	100.0
農林水産業	263	1.1	1,000	1.6	20,690	2.5
鉱業	26	0.1	73	0.1	581	0.1
製造業	12,302	49.2	33,019	53.9	299,107	35.6
建設業	1,125	4.5	1,865	3.0	46,483	5.5
電気・ガス・水道業	1,922	7.7	6,427	10.5	26,830	3.2
卸売・小売業	1,795	7.2	2,438	4.0	83,825	10.0
金融・保険業	792	3.2	737	1.2	32,096	3.8
不動産業	2,878	11.5	4,974	8.1	109,854	13.1
運輸業	994	4.0	4,459	7.3	38,601	4.6
情報・通信業	296	1.2	350	0.6	27,602	3.3
サービス業	3,646	14.6	5,964	9.7	153,537	18.3
参 考						
第 1 次産業	263	0.9	1,002	1.6	20,707	2.2
第 2 次産業	13,362	47.7	35,031	54.9	345,893	36.3
第 3 次産業	14,417	51.4	27,802	43.6	586,450	61.5

出典:市町村民経済計算

【図表 4-86 業種別特化係数 (平成 22 年 (2010 年) 国勢調査) (鹿嶋市・神栖市)】

業 種	鹿嶋市	神栖市	業 種	鹿嶋市	神栖市
農 業	0.48	0.85	金融業、保険業	0.69	0.45
林 業	0.09	0.10	不動産業、物品賃貸業	0.56	0.58
漁 業	1.32	2.32	学術研究、専門・技術サービス業	1.17	0.66
鉱業、採石業、砂利採取業	1.08	1.42	宿泊業、飲食サービス業	0.74	0.90
建設業	1.62	1.44	生活関連サービス業、娯楽業	0.94	0.76
製造業	1.53	1.75	教育、学習支援業	0.92	0.54
電気・ガス・熱供給・水道業	1.98	1.94	医療、福祉	0.71	0.58
情報通信業	0.28	0.14	複合サービス事業	0.48	0.49
運輸業、郵便業	1.88	1.80	サービス業(他に分類されないもの)	0.97	0.90
卸売業、小売業	0.88	0.81	公務(他に分類されるものを除く)	0.70	0.47

※全国: 1.00

出典:総務省統計局「地域の産業・雇用創造チャート」

<sup>12</sup>産業の業種構成比を県全体と比較した係数で、構成比と構成比とを比較した数値のこと。

## 2) 農業・水産業の状況 (図表 4-87~4-89)

本県は、全国2位の農業産出額を誇り、首都圏の食糧供給基地としての役割を担っている。農業が盛んな市町村が多い中で、鹿嶋市、神栖市は、メロンやピーマンの全国有数の産地として知られている。

神栖市内の波崎地区では、さばやいわし等の旋網漁業が盛んに営まれ、全国有数の産地として県内漁業及び水産加工業を支えている。平成17年(2005年)以降の波崎港の水揚高の推移をみると、数量ベースでは減少傾向ながら、金額ベースでは平成24、25年(2012、2013年)と持ち直している。

鹿嶋市、神栖市の農業・漁業は、工業とともに地域の魅力向上に大きく貢献している。一方で、農業では6次産業化への取り組みや商品価値の高い農産物の生産販売、地産地消による販路・消費拡大、水産業では高品質な水産物供給体制の構築等の課題を抱えている。

【図表 4-87 茨城県の農林水産物の現況 (産出額が全国上位の品目)】

全国第1位	全国第2位	全国第3位
鶏卵、メロン、ピーマン、芝レンコン、ほしいも、みず菜、チンゲンサイ、切り枝、みつば	かんしょ、レタス、梨はくさい、ごぼう、くりらっきょう、パセリ、落花生、カリフラワー	ねぎ、にら、かぼちゃ、スイートコーン、春菊、花木類(鉢)、そらまめ、こんにゃくいも、しそ
えび類(内水面)、まいわし、さば類、あゆ、こい(養殖)	しらうお、わかさぎ、はぜ類	しじみ、うなぎ

※水産物は漁獲量で比較(平成26年(2014年))、農畜産物(平成25年(2013年))

茨城の豆知識より作成

【図表 4-88 茨城県の種類別農業産出額及び生産農業所得(平成25年(2013年))】

(単位:億円)

		茨城県	
		産出額	構成比(%)
農業産出額		4,356	100.0
耕種	耕種	3,167	72.7
	野菜	1,767	40.6
	米	875	20.1
	果実	134	3.1
	花き	134	3.1
	麦類	4	0.1
	いも類	209	4.8
	畜産	1,131	26.0
	豚	375	8.6
	鶏	454	10.4
肉用牛	129	3.0	
生産農業所得		1,571	—
農家1戸当たり生産農業所得(万円)※		137	—
耕地10a当たり生産農業所得(万円)※		8	—

※生産農業所得は平成23年(2011年)

出典:生産農業所得統計

【図表 4-89 波崎港(神栖市)の水揚高(属人ベース)の推移】

(単位:万トン・億円)

年	数量		金額	
	数量	県全体に占める割合(%)	金額	県全体に占める割合(%)
H17 (2005)	12.5	51.8	66.8	44.0
18 (2006)	15.1	53.9	98.9	49.9
19 (2007)	10.3	53.7	84.4	44.0
20 (2008)	8.9	48.2	81.6	41.4
21 (2009)	7.3	50.6	56.0	39.8
22 (2010)	9.3	53.4	85.7	45.4
23 (2011)	6.2	47.7	50.5	39.0
24 (2012)	7.3	48.6	54.4	38.5
25 (2013)	7.2	50.2	73.1	42.3

※属人:漁獲統計における水揚高(漁獲量)には、どこの経営体が漁獲したかを示す「属人」ベースと、どの漁港に水揚げされたかを示す「属地」ベースの2つの指標がある。

※波崎港の水揚高は、「はさき漁業協同組合」と「波崎共栄漁業協同組合」の合計値。

出典:茨城県海面漁業水揚高集計表

### 3) 工業の状況 (図表 4-90~4-93)

平成 25 年 (2013 年) の鹿嶋市, 神栖市を合わせた工業事業所数は 273 所で, 平成 15 年 (2003 年) に比べ 19 所減少している。「化学」, 「食料品」が 50 所超で, 神栖市の「化学」は, 平成 15~25 年 (2003~2013 年) にかけて 10 所増加している。

一方, 平成 25 年 (2013 年) の鹿嶋市, 神栖市を合わせた工業従業者数は 19,372 人で, 平成 15 年 (2003 年) に比べ 1,065 人増加している。平成 15~25 年 (2003~2013 年) では, 平成 24 年 (2012 年) が 2 万人超で最も多く, 平成 25 年 (2013 年) は前年比減少している。平成 25 年 (2013 年) は, 「化学」が約 6 千人, 「鉄鋼」が約 5 千人で圧倒的に多く, 「食料品」が続いている。平成 15~25 年 (2003~2013 年) にかけて, 鹿嶋市の「鉄鋼」が 336 人, 神栖市の「化学」が 1,828 人, 神栖市の「飲料・たばこ・飼料」が 53 人それぞれ増加している。

平成 25 年 (2013 年) の鹿嶋市, 神栖市を合わせた製造品出荷額等は 2 兆 2,645 億円で, 県全体の 20.8% を占めている。平成 15 年 (2003 年) 以降では, 平成 19 年 (2007 年) をピークに減少し, 平成 22~24 年 (2010~2012 年) はほぼ横ばい, 平成 25 年 (2013 年) は増加している。鹿嶋市の「鉄鋼」は 26.9%, 神栖市の「化学」は 46.0% を占め, とともに平成 15 年 (2003 年) に比べ上昇している。

素材産業を中心に国内有数の産業集積を有する鹿嶋市, 神栖市だが, 近年の事業所数, 従業者数, 製造品出荷額等は伸び悩んでおり, 産業集積との関連性や雇用創出効果等を踏まえた企業誘致, 起業支援, 産官学連携の取り組みを推進し, 地域への波及効果を高める必要がある。

【図表 4-90 事業所数及び従業者数 (従業員 4 人以上の事業所) (平成 25 年 (2013 年)) (鹿嶋市・神栖市)】

業 種	鹿 嶋 市		神 栖 市		合 計	
	事業所数	従業者数	事業所数	従業者数	事業所数	従業者数
化 学	3	100	53	5,960	56	6,060
H15年比	—	—	—	—	11	1,928
鉄 鋼	10	4,568	5	347	15	4,915
H15年比	—	—	—	—	1	476
食料品	13	156	42	2,116	55	2,272
H15年比	—	—	—	—	-19	-580
生産用機械	1	944	8	99	9	1,043
窯業・土石製品	4	149	15	552	19	701
木材・木製品	5	313	4	538	9	851
H15年比	—	—	—	—	4	815
石油・石炭製品	2	120	1	425	3	545
プラスチック製品	1	5	10	506	11	511
飲料・たばこ・飼料	0	0	20	479	20	479
H15年比	—	—	—	—	1	53
金属製品	11	214	5	79	16	293
電子部品・デバイス	0	0	2	441	2	441
家具・装備品	0	0	4	249	4	249
業務用機械	1	27	4	175	5	202
非鉄金属	1	36	1	97	2	133
その他	23	271	24	406	47	677
合 計	75	6,903	198	12,469	273	19,372
H15年比	-6	284	-13	781	-19	1,065

出典: 工業統計調査

【図表 4-91 事業所数の推移 (従業員 4 人以上の事業所) (鹿嶋市+神栖市)】

	事業所数	うち鉄鋼 (鹿嶋市)		うち化学 (神栖市)		うち飲料・たばこ・飼料 (神栖市)	
		数	割合	数	割合	数	割合
H15 (2003)	292	9	3.1	43	14.7	18	6.2
16 (2004)	277	9	3.2	43	15.5	19	6.9
17 (2005)	286	9	3.1	43	15.0	20	7.0
18 (2006)	280	10	3.6	43	15.4	20	7.1
19 (2007)	288	10	3.5	43	14.9	21	7.3
20 (2008)	288	10	3.5	44	15.3	20	6.9
21 (2009)	269	11	4.1	42	15.6	22	8.2
22 (2010)	265	11	4.2	43	16.2	21	7.9
23 (2011)	285	16	5.6	50	17.5	18	6.3
24 (2012)	271	10	3.7	48	17.7	20	7.4
25 (2013)	273	10	3.7	53	19.4	20	7.3

出典: 工業統計調査

【図表 4-92 従業者数の推移（従業員 4 人以上の事業所）（鹿嶋市＋神栖市）】

(単位:人)

	従業者数	うち鉄鋼(鹿嶋市)		うち化学(神栖市)		うち飲料・たばこ・飼料(神栖市)	
			割合		割合		割合
H15 (2003)	18,307	4,232	23.1	4,132	22.6	426	2.3
16 (2004)	18,535	4,216	22.7	4,070	22.0	474	2.6
17 (2005)	18,015	4,275	23.7	4,637	25.7	461	2.6
18 (2006)	18,574	4,536	24.4	4,811	25.9	481	2.6
19 (2007)	19,284	4,725	24.5	5,080	26.3	514	2.7
20 (2008)	19,831	4,786	24.1	5,280	26.6	472	2.4
21 (2009)	19,316	4,667	24.2	5,346	27.7	762	3.9
22 (2010)	19,344	4,841	25.0	5,611	29.0	494	2.6
23 (2011)	18,592	4,683	25.2	5,729	30.8	457	2.5
24 (2012)	20,398	4,664	22.9	5,843	28.6	489	2.4
25 (2013)	19,372	4,568	23.6	5,960	30.8	479	2.5

出典:工業統計調査

【図表 4-93 製造品出荷額等の推移（従業員 4 人以上の事業所）（鹿嶋市＋神栖市）】

(単位:億円)

	製造品 出荷額等	うち鉄鋼(鹿嶋市)		うち化学(神栖市)		うち飲料・たばこ・飼料(神栖市)	
			割合		割合		割合
H15 (2003)	19,715	4,256	21.6	7,315	37.1	758	3.8
16 (2004)	19,485	5,106	26.2	7,736	39.7	942	4.8
17 (2005)	23,333	6,357	27.2	8,305	35.6	929	4.0
18 (2006)	26,093	6,729	25.8	9,303	35.7	947	3.6
19 (2007)	30,011	7,522	25.1	10,296	34.3	1,116	3.7
20 (2008)	25,052	8,962	35.8	9,051	36.1	1,299	5.2
21 (2009)	19,267	5,570	28.9	7,327	38.0	2,095	10.9
22 (2010)	20,429	6,335	31.0	8,733	42.7	1,042	5.1
23 (2011)	20,081	6,068	30.2	8,761	43.6	1,152	5.7
24 (2012)	20,173	6,049	30.0	8,307	41.2	1,113	5.5
25 (2013)	22,645	6,102	26.9	10,412	46.0	1,234	5.4

出典:工業統計調査

#### 4) 卸小売・サービス業の状況（図表 4-94～4-98）

平成 24 年（2012 年）の鹿嶋市の卸売・小売及びサービス事業所数は 1,413 所、従業者数は 12,680 人、付加価値額<sup>3</sup>は 297 億円となっている。事業所数は、飲食店、その他の小売業、洗濯・理容・美容・浴場業が、従業者数は、飲食店、飲食料点小売業、その他の小売業がそれぞれ上位を占めている。

一方、神栖市の卸売・小売及びサービス事業所数は 2,380 所、従業者数は 22,689 人、付加価値額は 500 億円となっている。事業所数は、飲食店、洗濯・理容・美容・浴場業、その他の小売業等、従業者数は、飲食店、飲食料点小売業、その他の事業サービス業がそれぞれ上位を占めている。

平成 24 年（2012 年）の鹿嶋市、神栖市を合わせた小売業年間商品販売額は 1,459 億円（鹿嶋市 614 億円、神栖市 845 億円）で、平成 19 年（2007 年）に比べ 202 億円減少している。

平成 27 年（2015 年）8 月現在、大規模小売店舗（店舗面積 1,000 m<sup>2</sup>以上）の出店数は、鹿嶋市、神栖市を合わせ 38 店舗（鹿嶋市 14 店舗、神栖市 24 店舗）となっている。家電量販店やドラッグストア等の専門店が 21 店舗で最も多く、食品スーパーが 10 店舗、ホームセンターが 5 店舗となっている。大型店の出店は国道 124 号沿い、コンビニエンスストアは市街地が中心である。

また、成田市や銚子市等の周辺都市には大型ショッピングセンターが立地し、両市からの車によるアクセスは比較的容易である。

鹿嶋市、神栖市では、製造業の集積とともに卸小売・サービス業の進出が進み、様々な小売店舗が立地する等、恵まれた商業環境にある。住民にとっては、日常生活に困らない買い物環境が整っている。

一方、鹿嶋市の鹿島神宮周辺地区は、幹線道路の整備や大規模店舗の郊外立地等により、かつての中心市街地としての賑わいや活気が失われている。また、市内の商業施設は多いものの、周辺都市に買い物に訪れる住民が多く、地域商業は体質強化を図り、広域からの集客を図っていく必要がある。

<sup>3</sup>付加価値額＝売上高－費用総額＋給与総額＋租税公課（費用総額＝売上原価＋販売費及び一般管理費）

【図表 4-94 事業所数・従業者数及び付加価値額（平成 24 年（2012 年））（鹿嶋市）】

		業 種	数・金額	
事業所数 (所)	合 計		1,413	
		上 位	飲食店	280
			その他の小売業	188
			洗濯・理容・美容・浴場業	183
			飲食料品小売業	135
			医療業	72
従業者数 (人)	合 計		12,680	
		上 位	飲食店	1,682
			飲食料品小売業	1,418
			その他の小売業	1,324
			医療業	1,292
			社会保険・社会福祉・介護事業	1,175
付加価値額 (億円)	合 計		297	
		上 位	医療業	73
			社会保険・社会福祉・介護事業	37
			娯楽業	28
			その他の小売業	24
			飲食料品小売業	21

※合計は格付不能先を除く。付加価値額は億円未満を四捨五入。

出典:経済センサス

【図表 4-95 事業所数・従業者数及び付加価値額（平成 24 年（2012 年））（神栖市）】

		業 種	数・金額	
事業所数 (所)	合 計		2,380	
		上 位	飲食店	490
			洗濯・理容・美容・浴場業	287
			その他の小売業	271
			飲食料品小売業	218
			医療業	113
従業者数 (人)	合 計		22,689	
		上 位	飲食店	3,068
			飲食料品小売業	2,404
			その他の事業サービス業	2,064
			その他の小売業	2,038
			医療業	1,950
付加価値額 (億円)	合 計		500	
		上 位	飲食料品小売業	99
			医療業	80
			その他の小売業	32
			機械器具卸売業	31
			宿泊業	27

※合計は格付不能先を除く。付加価値額は億円未満を四捨五入。

出典:経済センサス

【図表 4-96 小売業年間商品販売額の推移（鹿嶋市・神栖市）】

(単位:億円)

年	合 計	鹿嶋市		(参考) 茨城県
		鹿嶋市	神栖市	
H6 (1994)	1,726	624	1,102	30,967
9 (1997)	1,797	747	1,050	32,388
11 (1999)	1,786	718	1,069	31,990
14 (2002)	1,665	636	1,029	29,824
16 (2004)	1,677	673	1,003	29,022
19 (2007)	1,662	636	1,026	29,588
24 (2012)	1,459	614	845	24,503

出典:商業統計調査, 経済センサス

【図表 4-97 大型小売店舗・病院・診療所の立地状況（鹿嶋市・神栖市）】



茨城県「大規模店舗立地法に基づく届出」, 国土交通省「国土数値情報医療機関データ」を基に作成

【図表 4-98 コンビニエンスストアの立地状況（鹿嶋市・神栖市）】



※平成 27 年 (2015 年) 9 月現在 (ファミリーマートは同年 12 月現在) コンビニ各社 HP を基に作成